

平成 25 年度安芸高田市 財政分析について

(平成 25 年度決算)

【総務省改訂モデル】

平成 27 年 3 月
安芸高田市

も く じ

I	財務書類の公表にあたって	・・・ P 2
II	財務書類の概要（普通会計・連結ベース）	・・・ P 3
III	普通会計財務書類に基づく財務分析	・・・ P 5
IV	複合指標を用いた他団体比較	・・・ P 10
V	分析のまとめ ～安芸高田市の特徴ある指数～	・・・ P 12
VI	今後の課題と活用について	・・・ P 12

資 料

資料 1-1	平成 25 年度貸借対照表	・・・ P 13
資料 1-2	平成 25 年度行政コスト計算書	・・・ P 15
資料 1-3	平成 25 年度純資産変動計算書	・・・ P 16
資料 1-4	平成 25 年度資金収支計算書	・・・ P 17
資料 2-1	平成 25 年度連結貸借対照表	・・・ P 18
資料 2-2	平成 25 年度連結行政コスト計算書	・・・ P 19
資料 2-3	平成 25 年度連結純資産変動計算書	・・・ P 20
資料 2-4	平成 25 年度連結資金収支計算書	・・・ P 21

(注) 本資料中の各表の金額はいずれも表示単位の端数処理の関係上、合計等が一致しない場合もあります。

(記号説明)

B S ・・・ 貸借対照表
C F ・・・ 資金収支計算書
P L ・・・ 行政コスト計算書
N W M ・・・ 純資産変動計算書

I 財務書類の公表にあたって

～はじめに～

現在の地方自治体の公会計制度は、1年間の現金収支に着目した「現金主義・単式簿記」が採用されており、これが歳入歳出決算書で示している現行の公会計制度です。

この制度は、その年度の収支など現金の動きがわかりやすい反面、資産・負債に係るストック情報や、行政サービスを提供するために発生したコスト情報が不足しているという弱点があり、これを補うために「発生主義・複式簿記」による企業会計的な手法を導入する動きが全国で広がってきています。

本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」に従い、普通会計の財務書類四表、及び公営事業会計や第3セクター等を含めた連結財務書類四表を作成し、財務分析を行っております。

なお、類似団体・近隣団体と比較を行いながら、住民等に対して公表していくことが、財務諸表の作成のうえで求められるところですが、現時点では他団体の財務諸表の作成進捗状況・公開状況にばらつきがあり、全てのデータを最新の状態で作ることができておりません。比較が容易でないところもありますが、透明性の高い、わかりやすい財政状況の公表に取り組んでまいります。